

つぶてソング第1集について

2011年3月11日の東日本大震災で被災した福島県在住の詩人・和合徳英が震災の翌週から「ツイッター」で作品（みずから「詩の礫」と命名）の発信を続けて大きな話題になった。過酷な被災地の中で詩人が詩句を発し始めたことに気付いた作曲家・新実徳英が、自ら「つぶてソング」と名づけて「歌」の連作を始め、全12曲が一気に連作された。本曲集はその中から初めの6曲を作曲者自身が男声合唱に編曲した合唱曲集である。歌も伴奏も優しく歌いやすいソング版と同様、合唱版も誰にでも歌いやすい。幅広い世代、多くの人々に歌っていただき被災地にエールを送りたい。